

スリナム月間情勢報告（2022年12月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

12月のスリナム内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1. 概況

- 幅広い自由と発展党（ABOP）（連立与党）のブランズウィック党首（副大統領）は、最高の結託党（PL）（野党）と25年の総選挙で協力することを既に決定していると述べた。
- 政府は、新たな国際空港をニッケリー地区に建設する計画を立ち上げた。現在使用していないニッケリー空港を利用する予定。
- 統計局は、11月末時点の年間インフレ率が49.5%に上昇したと発表。
- オランダのルッテ首相が奴隷制の過去について謝罪。また、明年7月1日の奴隷制廃止記念式にウィレム・アレキサンダー国王が出席する。

2. 内政

（1）新型コロナウイルス

- （12日報道）保健省はオランダからの寄付としてファイザー製ワクチンを受領した。23年3月に有効期限となる19,890個のファイザー製ワクチンであり、スリナムとオランダの間で二国間寄付契約が締結された。
- （13日報道）公衆衛生局長は、新規感染してもすぐに回復する場合は問題なく、新型コロナウイルス感染の封じ込めのために対策を強化する理由はないと述べた。

（2）その他の内政

- （4日報道）幅広い自由と発展党（ABOP）（連立与党）のブランズウィック党首（副大統領）は、最高の結託党（PL）（野党）と25年の総選挙で協力することを既に決定している。ブランズウィック党首がPLの24周年の祝賀会で公表。
- （20日報道）司法・警察庁が中国人団体と犯罪防止について協議。中国人商店主は、自分たちの商売を狙った強盗に辟易しており、スリナム中国企業連合（SCBA）等の様々な中国人団体の代表が、アモクシー司法・警察相に申し入れを行った。
- （21日報道）中国系企業家の9割以上が、スリナム中国人連合会（SCUA）とスリナム小売・企業家協会（WOV S）の呼びかけに応じ、火曜日（20日）

の午後1時まで店を閉め続けた。中国人企業家に対して行われた強盗や強奪に対する抗議に連帯するもの。

3. 経済

- （10日付報道）政府は、新たな国際空港をニッケリー地区に建設する計画を立ち上げた。サントキ大統領は、同事業に関してトーレス West Air Aviation 社長と協議した。現在使用していないニッケリー空港を利用する予定。
- （13日付報道）サントキ大統領は、前中銀総裁のリーキバーズ氏を財務・計画大臣に就任したことで、ブーセッド氏を中銀総裁に任命した。
- （22日付報道）統計局は、11月末時点の年間インフレ率が49.5%に上昇したと発表した。なお、スリナムの消費者物価指数は、316品目の価格を首都パラマリボとワニカの2都市で調査している。

4. 外交

- （15～18日報道）サントキ大統領は、19日にオランダ政府がスリナムにおける過去の奴隷制について謝罪するとのニュースに言及し、政府には正式に通達されていないと述べた上で、「政府は謝罪を歓迎するが、それは、より多くの側面を含む全体的な取り組みの一部であるべき」と述べた。また、野党国民党は、現政権とオランダ政府が一方向的に決定したとして反発。
- （19日報道）オランダのルッテ首相が奴隷制の過去について謝罪。また、明年7月1日の奴隷制廃止記念式にウィレム・アレキサンダー国王が出席する。
- （20日報道）スリナムとオランダの司法協力に関する協議が続けられている。20日、外務省において、アモクシー司法・警察相とオランダのウェルウィンド法的保護相との会談が行われた。
- （27日報道）サントキ大統領は1月1日のルーラ・ブラジル大統領の就任式に出席し、同大統領のスリナムへの公式訪問を招請する。サントキ大統領は、スリナム、ブラジル、ガイアナ間の戦略的関係を協議したいと考えている。